



流域のみんなが進めた大和川の一歩。

プロジェクト計画

実施事項報告2009 概要



Cプロジェクト計画の「C」とは、
水質の悪い大和川というイメージを変える **“Change”**
流域全体が連携 **“Collaborate”**
力を集中 **“Concentrate”** ...を意味しています。



大和川[絵・ポスター・作文・写真]
コンクール2008 入賞作品

※これらの写真は、大和川[絵・ポスター・作文・写真]
コンクール2008で入賞した作品です

平成21年12月

Cプロジェクト計画 担当者会議
(国土交通省・大阪府・奈良県・流域市町村)

Cプロジェクト計画は、平城遷都1300年となる2010年
を目指して、流域一帯で大和川再生を加速させる計画
です。



2010年 目標年 平城遷都1300年 に向かってラストスパート!!

Cプロジェクト計画とは...

平城遷都1300年にあたる2010年(平成22年)を目標年とした“大和川の再生を加速する”計画です。流域住民と行政とのパートナーシップにより、様々な取り組みを推進していきます。

Cプロジェクト計画の目標と意義

大和川水環境サミットで掲げられた3つの目標。

- 1 生命・財産を守る 安全で安心な大和川**
多くの人口や資産、近畿圏の政治経済の中核機能が集積し、首都機能の代替を果たしているこの地域において、人々の生命・財産・暮らしを守る安全・安心な大和川を目指し、流域の特性を踏まえて上下流のバランスをとり、関係機関が連携して治水対策等を進めます。
また、子どもたちが水しぶきをあげていきいきと遊べるような安全な水辺空間の創出を目指し、流域住民と行政とのパートナーシップにより水環境の再生を図ります。
- 2 次世代に伝える 美しい大和川**
万葉の古来より多くの人々に愛された美しい大和川を再生させ、次世代に伝えていくことを目指し、流域の関係行政機関が緊密に連携することにより河川・下水道等の機能を最大限に活用し、また、流域住民と行政とのパートナーシップによる水環境再生や河川環境の保全等の取り組みを進めます。
- 3 地域を育む 豊かな大和川**
一昔前まで子どもたちが水しぶきをあげながらいきいきと遊び泳いでいた大和川、人々が集う大和川を目指して、大和川をより一層理解するための上下流・左右岸交流を進めるとともに、流域住民と行政とのパートナーシップをより一層充実させるネットワークづくり等を進めます。

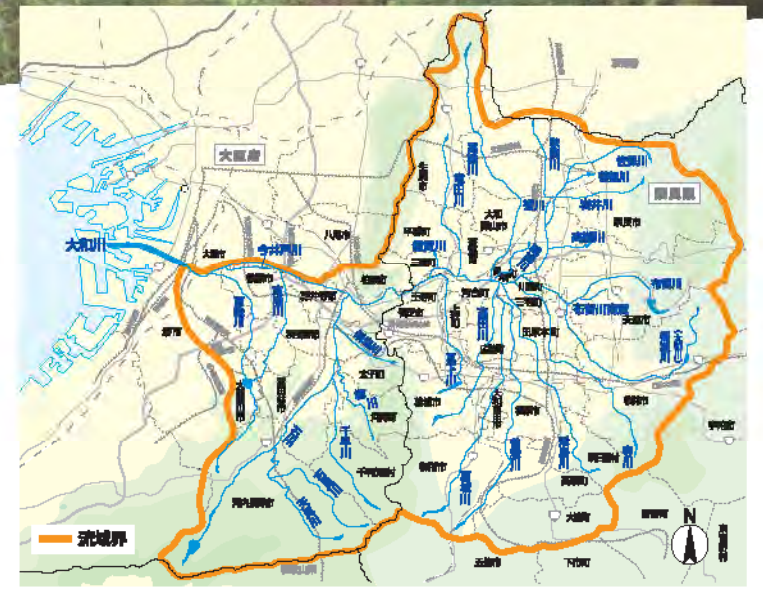
これを推進することで...

- 日本全国の河川の目標になる
- 流域の一体感を醸成し、大和川の価値を高める

悠久の歴史を有しながらも水資源に恵まれず、水質等多くの課題を持つ大和川を再生することは、日本全国の河川の目標となりうるものです。
また、流域一体の取り組みを通じて上下流や左右岸がひとつにつながっていることを認識することは、大和川の価値を高めることにも結びつきます。

対象とする地域

国・2府県・38市町村



それぞれの役割

国	府県	市町村	住民
生命・財産を守る安全で安心な大和川			
<ul style="list-style-type: none"> ◆河川整備基本方針・河川整備計画の策定 ◆浸水想定区域図作成 ◆河川改修 ◆地すべり対策 ◆防災ステーションの整備 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆河川整備計画の策定 ◆浸水想定区域図作成 ◆河川改修 ◆防災意識の啓発 ◆土砂災害警戒区域の指定 ◆防災情報提供の体制づくり 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆洪水ハザードマップの作成 ◆土砂災害ハザードマップの作成 ◆防災意識の啓発 ◆防災訓練の実施 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆防災意識の向上 ◆防災訓練への参加 等
次世代に伝える美しい大和川			
<ul style="list-style-type: none"> ◆河川浄化施設整備 ◆生活排水対策社会実験の実施 ◆魚道の改修 ◆出前講座の実施 ◆清掃イベントの共同開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆意識啓発、教育、情報発信 ◆生活排水対策社会実験の実施 ◆清掃イベントの共同開催 ◆下水道整備の推進 ◆高度処理施設整備の推進 ◆浄化槽整備の推進 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆意識啓発、教育、情報発信 ◆生活排水対策社会実験の実施 ◆水質調査等の調査内容の公開 ◆清掃イベントの共同実施 ◆下水道整備の推進 ◆浄化槽整備の推進 ◆イベント開催、きっかけ作り 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆意識の転換 ◆ライフスタイルの変換 ◆下水道接続の推進 ◆浄化槽の適正管理 ◆清掃活動の実施 等
地域を育む豊かな大和川			
<ul style="list-style-type: none"> ◆水辺の楽校の整備 ◆交流会の共同開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民、NPOへの支援活動 ◆活動交流の場の提供 ◆アドボカシー制度の導入 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民、NPOへの支援活動 ◆活動交流の場の提供 ◆交流会の共同開催 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住民、NPO活動 ◆周辺地域や上下流域の活動団体との交流 ◆利用を通じた環境とのふれあい 等

Cプロジェクト計画 HOP!! STEP!! JUMP!!

2006年 START!!

©国、府県、流域市町村の代表と流域住民が集まる

「Cプロジェクト計画」策定
「流域交流会」開催

↑大和川サミット

2007年 HOP!!

「このゆびと〜まれ! 大和川の集い」

防災・減災フォーラム

↑防災・減災フォーラム

2008年 STEP!!

まるごとまちごとハザードマップ
大和川市民ネットワーク

↑大和川市民ネットワーク
まるごとまちごとハザードマップ→

2009年 JUMP!!

水辺の楽校開校

↑水辺の楽校開校チラシ
↑大和川水辺の楽校

2010年~

新たなステージへ パトタッチ!!

2008年の活動について詳しくは次ページ以降へ

流域で取組まれたCプロジェクトの成果



1 大和川・石川クリーン作戦&大和川一斉清掃

2009.8.1に大阪府側では「大和川・石川クリーン作戦」を、奈良県側では「大和川一斉清掃大作戦！」を同時開催し、合計約247トンのゴミを回収しました。このように大規模な連携のよりの清掃活動は初めてのことであり、今後も継続して実施していく予定です。



2 企画展の開催

柏原市では1998年度から大和川の付け替えについての企画展を毎年開催しており、2009年度は夏季と秋季に企画展を行いました。秋季企画展では小学生を中心に約1万名が見学しています。



5 やまとがわ水生生物調査

2008年度は王寺町・三郷町・河合町・堺市・柏原市の小学生を対象に「やまとがわ水生生物調査」(国土交通省主催)を実施しました。



7 アースデイinなら

2008.4.20に開催され、大和川博士講座、子供たちによる水質実験、大和川クリーン作戦等を実施。大和川クリーン作戦で回収したゴミは約8トンにも及びました。



アユの放流

大和川水産研究会協同組合の協力のもと、園児によるアユの放流を毎年実施しており、2008年度は約70名の園児により約1000匹の成魚が放流された。放流後は川をきれいにするためにできることについて勉強しました。

大和川



3 「水環境」メッセ2008

「南河内水辺のつどい」と共同で地元の小学校、中学校、アダプト団体等の方々が参加して、日頃の研究成果を発表するとともに、砂防、農空間保全の出前講座や水環境のパネル展示が行われました。



4 三市合同による震災合同訓練

2008.10.25に石川スポーツ公園において防災関係機関も参加し、体験型の震災合同訓練を実施し、当日は約5,000名の参加がありました。同訓練は2年に1回のペースで継続的に実施しています。



6 亀の淵地すべり見学会

2008.7.21に亀の淵地すべりの見学会を実施しました。現地では、排水トンネルや集水井、模型やパネル等を見学しました。当日は55名の参加がありました。



11 奈良県防災総合訓練

大地震が発生したとの想定に基づき、2008.8.24に防災総合訓練が実施されました。当日は訓練や河川パトロールといった実演だけでなく、非常食の試食会や災害用伝言ダイヤル体験等の一般参加者も参加・体験できるコーナーを設けました。



10 浄化施設見学会

奈良県では、「下水道の日」にちなんで、県内4つの浄化センターにおいて下水道施設の見学会とイベントを開催しており、例年多くの親子が参加しています。



生活排水対策社会実験

大和川流域で2009.2.14~20にかけて生活排水対策社会実験を実施しました。2008年度は新たに平群町をモデル地区に加え、6地区で詳細な検証を実施しました。



8 「大和川の日」市民フォーラム

2008.10.13に大和川市民ネットワークが「大和川の日」市民フォーラムを開催し、記念講演、日頃のネットワーク加入団体の活動報告、パネルディスカッションを実施しました。(参加者数78名)



奈良県山の日・川の日園遊イベント

シンポジウム、源流体験ツアー、歴史・文化講座等、様々な視点から大和川について考えるきっかけとなるイベントを大和川流域のいたるところで開催しました。



9 住民による環境美化活動

「みんなで栗原川をきれいにして大和川に清流を取り戻そう」というスローガンのもと、市内の自治会、ガールスカウト等が年1回河川清掃を実施しています。

流域で取組まれたCプロジェクトの成果（市町別）

大阪府

大阪市

- 水質についての参加型体験学習として下水道科学館で夏休みこども教室を開催。
- 大和川河川敷の公園で、地元愛護会が行う清掃等の維持管理活動を支援。2008年度は計4団体(延べ約1,500名)に対し支援。



▲夏休みこども教室のようす

堺市

- 大和川の歴史と流域の関係について「新大和川」と題した展示を開催。
- 楽しいんやさかい大和川一日水辺の楽校を開催。せせらぎ遊び、水生生物観察、清掃活動等を実施。(参加者数:約1,000名)



▲一日水辺の楽校のようす

八尾市

- 大和川の付け替えと河内木綿をテーマとした「大和川流域と高安山〜その文化と歴史〜」と題した常設展を開催。
- 2008.7.12に大和川クリーンデーの取り組みの一環として大和川の河川清掃を実施。

柏原市

- 「大和川の歴史をたどる」と題した文化財講座を約1年をかけて開催。
- 2008.7.19に「1400年前の難波津」「古大和川の流路変遷」と題した文化財講演会を開催。
- 市民歴史大学の中で、中世の大和川とその周辺の様子について「大和川と水運」と題した講演を実施。
- 2008.6.1に環境フェアのイベントの一つとして大和川の水生生物の学習会を実施。(参加者数:約70名)

羽曳野市

- 土砂災害対策の一環として、豪雨発生前・中・後に急傾斜地ハザードマップを実施。2008年度は計33回実施。
- 2008.7.26に、「親子・水辺の観察会」を開催。石川の生態系の実態観察を専門講師の指導のもと、実施。

藤井寺市

- 「みぞ・すいろ・かわグリーン21」活動として、溝や水路河川の清掃活動を継続実施。
- 2009.1.29に小学生を対象に、水環境問題に関する出前講座を開催。(参加者数67名)
- 市民祭りや下水道のPRに加え大和川と水路の生き物の展示等を実施。

大阪狭山市

- 2008.12.18に大阪府から「川をまもり隊」に任命された小学生による不法投棄防止啓発看板の設置と河川清掃を実施。
- 小学生を対象とした下水処理場見学会を実施。

松原市

- 大和川付け替え後、約300年が経過したことをうけて「新田開発と松原〜大和川付け替え後の様子〜」と題した特別展を開催。
- 浄化槽雨水貯留施設転用補助制度を創設。
- 下水道整備率向上に向け、貸付金制度や助成金制度、未接続家屋への個別訪問を通じた取り組みを実施。

河内長野市

- 家庭からの生活排水対策の一環として食用油の回収・リサイクル活動を定期的に実施。2008年度は年間約7600Lを回収。
- 環境保全林整備事業として経年的に間伐事業を実施。2008年度は約30haに対し間伐作業を実施。
- 大和川水環境協議会・河内長野市など南河内3市2町1村が連携して毎年8月に「親子のふれあい自然学習会」を石川流域で実施。2008年は8/5に開催し、約200名が参加。



▲親子のふれあい自然学習会のようす

富田林市

- MCA同報系防災無線システムの屋外拡声子局設備の増設。
- 市民ボランティアと協働で「生きもの水辺づくり」を開催。

太子町

- 「唐川ホテルを守る会」がホテルの保護、育成の他、定期的な河川清掃を実施。
- ボランティアによる清掃活動に対し手ごみの無料シールの発行。

河南町

- 自主的な防災組織への活動費助成制度の導入。
- 2008.9.14に町内一斉にグリーンキャンペーンを実施。道路や河川等の清掃により約9.7トンのゴミを収集。
- 2008.10.24に民間企業と災害時における生活必需品等物資の供給協力に関する協定を締結。

奈良県

奈良市

- 出張講座(奈良市まちかどトーク)の水環境に関するテーマを設け、希望に応じて出張講座を実施。
- 2008.6にアダプトプログラム推進事業を開始し、市民ボランティアの美化活動を支援する体制を整備。2008年度2月末時点で29団体が申請。

大和郡山市

- 2008.6に環境月間ポスターを募集。小学生1,300点、中学生360点の応募。
- 住民ボランティアによる清掃活動やNPOによるピオトープづくり活動をサポート。

天理市

- 2009.7.11に布留川でリバーウォッチングを開催。流域の小学生を対象に水生生物の観察や清流の大切さと生物が住める環境をテーマに自然観察指導員が講演。(参加者数:住民、講師計48名)
- 2008.6.7に「天理環境フォーラム2008(もったいないから始めるエコアクション)」を開催。布留川でのホテルの観察、清掃活動の他、環境展やパネルディスカッションを実施。



▲リバーウォッチングのようす

橿原市

- NPOとの協働事業で親子水探検講座(講座・リバーウォッチング)を実施。
- かしはら商工まつり「まほろばフェスタ」において、河川に棲む生物の展示及び生活排水クイズ行い、生活排水対策の意識啓発を実施(来場者数:約2,000人)。
- ハザードマップを活用した出前講座を通じ、防災に対する意識啓発を実施。



▲出前講座のようす

桜井市

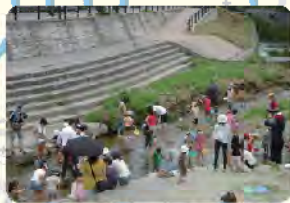
- 崩壊した山林の復旧治山事業として土砂流出を防ぐ間伐を実施。2008年度は約7haに対し間伐作業を実施。
- 自然観察会、源流体験等を8小中学校において17回開催。(参加者数:797名)
- 「警報・注意報」「地震情報」等を市民にメール配信。(2009.3末日時点で810名が登録)

香芝市

- 2008.6.10に市の職員や消防署員が参加して「防災マップの作成演習」を実施。
- 2008.6.26に管内のため池を利用して、香芝消防署と広陵消防署が水難救助訓練を実施。
- 市内中学校で周辺住民の参画を得て、使用済み食用油を回収。回収した食用油をNPOが環境に優しいバイオディーゼル燃料にリサイクルする活動を実施。

大和高田市

- 高田川、葛下川、葛城川、曾我川のハザードマップの公表。
- 2009.7.24に水生生物の観察と川の水質調査を実施。また、あわせて清流の大切さと生物が住める環境をテーマに自然観察指導員が講演。(参加者数:70名)



▲リバーウォッチングのようす

平群町

- 竜田川流域生活排水対策推進会議の活動の一環で生活排水に対する店頭啓発活動を1回、小学生を対象とした出前講座を1回実施。
- 2008.6.1と2008.9.7にふるさとへくりグリーンアップ作戦を実施し、合計520kgのゴミを回収。(参加者数:490名)

三郷町

- 下水道整備率向上に向け、水質浄化貸付金制度や広報紙、懸垂幕を通じた取り組みを実施。
- 2008.10.25に町民文化祭にあわせて、「大和川グリーンキャンペーン」として河川清掃を実施。

斑鳩町

- 2008.6.1にグリーンキャンペーンを実施し、7つの「いいこしえの道」で約700kgのゴミを回収。(参加者数:1,102名)
- 2009.1.1から、災害発生時に避難勧告、避難指示といった緊急情報をはじめ、避難時等における生活関連情報のメール配信を開始。
- 竜田川流域生活排水対策推進会議の活動の一環として、使用済み食用油を回収して石けんにリサイクルする活動を継続実施。

河合町

- 約1年をかけて大和川流域の歴史に関するセミナーを開催。
- 2008.11.12に役場職員を対象に「状況予測型図上訓練」を実施。

御所市

- 環境省が表彰する「水・土壌環境保全活動功労者表彰」を、市立葛中学校と御所市地域婦人団体連絡協議会の2団体が受賞。
- 2008.8に「第16回広がれ大和川・みんなのつどい」の中で、EM団子やアグリタウンを作成。(参加者数:小学生78名+保護者)
- 2008.7.26に市民ボランティアが「川の教室」を開催。水生生物の観察・採取等を実施。(参加者数:小学生、保護者約130名)



▲市立葛中学校での特別講義のようす

葛城市

- 葛下川、高田川、葛城川について洪水ハザードマップを作成、公表。

川西町

- 2009.3.19に町内中学校の生徒による寺川堤防グリーン活動を実施。この清掃活動は同中学校によって毎年実施。

三宅町

- 下水道への接続を行なってもらうために、下水道接続時の奨励金交付利度や広報誌、HPを利用した情報提供等様々な取り組みを実施。

田原本町

- 2008.9.7に「クリーンアップならキャンペーン」が開催され、企業やボランティア団体、高校生等による清掃活動を実施。(参加者数:約300名)
- 使用済み食用油を回収して、石けんにリサイクルする活動を継続実施。

上牧町

- 下水道への接続を行なってもらうために、下水道接続時の奨励金交付利度や広報誌、HPを利用した情報提供等様々な取り組みを実施。
- 「上牧町ペガサスフェスタ」のイベントとして、「滝川グリーンキャンペーン」の実施。

王寺町

- 河川愛護月間である7月に「グリーンキャンペーン」と「大和川クリーンデー」の2つのイベントで河川掃除を実施。

広陵町

- 2008.11.20に町内中学校の生徒が高田川でエコグリーンキャンペーンを実施。
- 高田川、葛城川、曾我川について洪水ハザードマップを作成、公表。
- 小中学生を対象に河川の歴史、文化をテーマとした学習会を開催。

NPOその他

- 2008.11.23にNPOや民間企業、環境団体等から構成される実行委員会が「大和川再生フォーラム2008」を開催し、記念講演を開催。(参加者数:130名)

防災情報メールシステムの運用を開始しました。

大阪府、奈良県では、防災対策の一環として各種防災情報をメール配信する「防災情報メールシステム」の運用を開始しました。

大阪府 ～おおさか防災ネット～

気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・指示などの防災情報について、メールで配信します。

●配信内容

- ◆避難勧告・指示状況
- ◆津波・地震・台風
- ◆警報・注意報
- ◆土砂災害警戒情報
- ◆光化学スモッグ ほか

●登録方法

①<touroku@osaka-bousai.net>に空メール(本文、件名に何も書かれていないメール)を送信してください。

※右のQRコードを読み込んでメールを送信することも可能です。



②メール本文にある「■登録」のすぐ下にある登録用URLに接続してください。
③配信地域や配信条件等を登録してください。



奈良県 ～川の防災情報～

●配信内容

- ◆県内観測データ(雨量データ・水位データ・ダムデータ)
- ◆水防警報発令状況
- ◆水防配備状況(河川管理者向け)
- ◆気象警報・注意報の発令状況 ほか

●登録方法

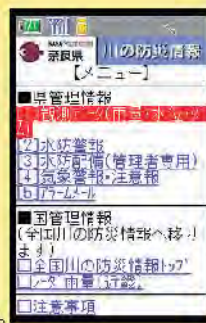
①<<http://www3.kasenbousai.pref.nara.jp>>にアクセスしてください。
※下のQRコードを読み込んでアクセスすることも可能です。



②【メニュー】画面(右図参照)

■県管理情報

↓
[5]アラームメールからご登録ください。



大和川河川事務所

大和川河川事務所の携帯サイトでは、下記の防災情報が閲覧できます。

●閲覧可能情報

- ◆水位・雨量情報 ◆大和川の水質情報
- ◆大和川総合治水ものがたり
- ◆防災関連リンク集 ほか

●情報提供HPアドレス

下記のアドレスを直接入力いただくか、QRコードを読み込んでご登録ください。

【iモードの場合】

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/mobile/i/index.php>

【ez-webの場合】

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/mobile/ez/index.php>

【softbankの場合】

<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/mobile/v/index.php>

iモード



ez-web



softbank



水質改善に向け、プロジェクトチームを立ち上げました。

大和川の水質改善に向け、大阪府・奈良県でプロジェクトチームを立ち上げました。

プロジェクトチームでは、効果的に水質改善を図るべく、ソフト・ハード両面から様々な取り組みを進めていく予定です。また、連携できる分野については積極的に連携していく予定です。

●府県連携 第1弾

2009.3.11に奈良県・大阪府で大和川流域清掃イベントを行いました。当日は約23,700名の参加者によって、約247トンのゴミが回収されました。



●府県連携 第2弾

H21.7.14には「もう少しです!大和川」をキャッチフレーズに大和川の水質改善への協力を呼びかけたチラシ及び啓発物品の配布を奈良県側5箇所、大阪府側2箇所の計7箇所で一斉に実施しました。この一斉啓発活動には大和川河川事務所も協力しています。



●官民連携 第1弾(奈良県)

奈良県では県内における水質改善を国交省、流域市町村、民間(住民団体、NPO、企業)と連携しながら進めていく場として「大和川清流復活ネットワーク」を2008.11.18に立ち上げました。



●自治体連携 第2弾(大阪府)

大阪府では、大和川流域の自治体と情報交換会を2009.9.7に開催しました。情報交換会では、各自治体で水質改善のために取り組むに関する情報共有を行いました。今後は市町村と連携しながら重点河川における集中的な取り組み等を進めていく予定です。



この冊子に対するご意見・ご感想等は下記までお寄せ下さい。

国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所 調査課
〒583-0001 大阪府藤井寺市川北3-8-33
URL:<http://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/>